

都市計画——その歴史に学び、 次代に対応しうる 仕組み・制度を考える

少子高齢化社会

人口減少社会

～ 国交省清水技術審議官を囲み熱く議論する～

これまで、都市計画の考え方や制度等は、時代や社会のニーズ・地域の状況に応じて変化し、今日の都市社会が形成された。しかし、私たちの身近な環境から都市圏全体までを見渡せば、果たしてこれでよかったのか、いかなる問題点があるのか、今後の人口減・少子高齢化社会に対応できるのか……など、社会が成熟するためには様々な課題を抱えていることも事実である。

ほぼ半世紀前に制定された都市計画法の哲学から、時代の変化にあわせて対応してきた諸制度や運用の問題点を明らかにしたうえで、新たな都市計画の方向性を俯瞰、改善提案する。

開催概要

日時：平成27年1月23日(金)13:30～16:30

場所：立命館大学 大阪梅田キャンパス多目的室(大阪富国生命ビル5階)
大阪市北区小松原町2-4

主催：NPO地域デザイン研究会

資料代：1,000円

定員：100名(定員に達し次第、受付を終了いたします)

プログラム

第一部 講演【時代の変化にいかに対応してきたか、問題・課題は?】

講師：平峯 悠 元大阪府土木部長、地域デザイン研究会理事長

第二部 講演【いまの社会ニーズと立地適正化計画】

講師：清水喜代志 国土交通省都市局技術審議官

第三部 討論【これからの都市計画を考える】

パネリスト：清水喜代志 国土交通省都市局技術審議官

村橋正武 立命館大学総合科学技術研究機構 上席研究員

岩本康男 元大阪市計画調整局長

コーディネータ：平峯 悠 元大阪府土木部長、地域デザイン研究会理事長

問題提起：府県、指定都市、市町村、民間開発者、市民など

後援：(社)日本都市計画学会関西支部、(社)土木学会関西支部

(社)日本建築学会近畿支部、(財)大阪府都市整備推進センター

(財)都市活力研究所、(社)建設コンサルタツ協会近畿支部

参加を希望される方は、

氏名、所属、連絡先E-mail、電話番号をご記入の上、FAX(裏面利用)またはE-mailにてお申し込みください。
ホームページからも申し込みできます。

